

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
音楽Ⅱ	演習	1	井本 英子・加藤 理沙子・北山 幹子 的場 里美・李家 和馬
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b>			
<p>保育・幼児教育の中での音楽の目標及び指導内容を知り、保育現場に即応できる実践力を養い高める。</p> <p>① 保育要領・幼稚園教育要領の中での音楽の目標・内容を理解し応用できることを目標とする。</p> <p>② ピアノ実技のレッスンを通してピアノの基礎技術を習得し、その技能を高める。</p> <p>③ 基礎的な音楽理論をさらに習得する。</p> <p>④ ソルフェージュ（聴唱、聴奏、視唱、視奏等）の技能を高める。</p> <p>⑤ 「音楽Ⅰ」の学習内容を継続し、発展させ、レパートリーを増やすことを目標とする。</p>			
<b>【授業の概要】</b>			
<p>保育・幼児教育の中での音楽の目的を理解し、ピアノ実技のレッスンをととしてピアノの基礎技術と基礎的な音楽理論やソルフェージュ力を習得しその技能を高める。さらに保育者として音楽に対する感性を高め、幼児の感性をも豊かに育てるための表現力を身につけ、保育現場に即応できる実践力を養い高める。</p> <p>担当者別のグループに分かれて、個人レッスン及びグループレッソンを行い、下記の内容を毎時間総合的に学ぶ。曲目は、実技進度に応じて選曲する。</p>			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. ガイダンス、夏休みの課題テスト、クラス分け	9.	音楽理論1（いろいろなリズム、拍子）	
2. 楽曲演奏1（指の練習のために）	10.	音楽理論2（いろいろな音楽用語）	
3. 楽曲演奏2（伴奏の練習のために）	11.	ソルフェージュ（視唱・視奏の応用）	
4. 楽曲演奏3（表情豊かな演奏のために）	12.	ソルフェージュ（聴唱・聴奏の応用）	
5. 楽曲演奏4（レパートリーを増やすために）	13.	歌唱（歌唱のレパートリーを増やす）	
6. ピアノ奏法の応用1（いろいろな和音）	14.	歌唱（弾き歌いのレパートリーを増やす）	
7. ピアノ奏法の応用2（いろいろなリズム）	15.	試験と振り返り	
8. ピアノ奏法の応用3（いろいろな拍子）			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方:課題曲を各自習熟して授業に臨むこと。			
学習のあり方:意欲をもって積極的に学ぶこと。			
復習のあり方:常に復習をしてレパートリーを増やすこと。			
<b>【成績評価】</b>			
平常試験（40%）、課題達成・授業内習熟度（50%）、学習態度・学習意欲（10%）			
<b>【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】</b>			
小テストやレポートには適宜コメントを記入或いは説明・指導をして返却する。			
<b>【テキスト】</b>			
授業内に進度に応じて配布する。			
テキスト（教材）を忘れた場合にはレッスンは聴講となる。			
<b>【参考文献】</b>			
『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、『小学校音楽科学習指導要領』その他授業内に実技進度に応じて紹介する。			